

定期作況報告

(第2号 平成20年6月20日現在)

北海道立上川農業試験場

1. 気象概況

5月下旬：最高気温は平年より2.2 低く、最低気温も平年より1.5 低かった。降水量は平年より11.3mm 多く、平年対比139%であった。降水日数は平年並であった。日照時間は平年より5.6時間少なく、平年対比90%であった。夏日(最高気温25 以上)はなかった。

6月上旬：最高気温は平年より0.1 高く、最低気温も平年より1.3 高かった。降水量は平年より1.9mm 多く、平年対比109%であった。降水日数は平年並であった。日照時間は平年より4.4時間少なく、平年対比93%であった。夏日は5日間であった。

6月中旬：最高気温は平年より1.4 低く、最低気温も平年より1.4 低かった。降水量は平年より5.2mm 多く、平年対比127%であった。降水日数は平年より3日多かった。日照時間は平年より6.4時間少なく、平年対比87%であった。夏日は2日間であった。

5月下旬から6月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	5月下旬			6月上旬			6月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温()	18.2	20.4	2.2	21.6	21.5	0.1	21.5	22.9	1.4	20.4	21.6	1.2
最低気温()	6.6	8.1	1.5	10.8	9.5	1.3	10.3	11.7	1.4	9.2	9.8	0.6
平均気温()	12.2	14.1	1.9	16.0	15.3	0.7	15.8	17.1	1.3	14.7	15.5	0.8
降水量(mm)	40.5	29.2	11.3	22.5	20.6	1.9	24.5	19.3	5.2	87.5	69.1	18.4
降水日数(日)	4	4	0	3	3	0	6	3	3	13	10	3
日照時間(hr)	53.1	58.7	5.6	54.9	59.3	4.4	43.0	49.4	6.4	151.0	167.4	16.4

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10カ年の平均値。

3) 印は平年に比べて減を示す。

1) 水 稲 : 平年並

事由：移植は中苗、成苗とも平年と同じ5月19日に行った。移植後の数日、風が強い日が多く、苗の植え傷みが目立った。さらに、5月下旬の気温が低めに経過したため苗の活着はやや緩慢であり、分けつの発生は遅れた。

6月20日現在、主稈葉数は成苗「ななつぼし」が平年並、それ以外は平年に比べ0.2～0.4枚少なかった。㎡当たり茎数は成苗では平年並であったが、中苗「きらら397」では平年の75%に留まった。草丈は中苗、成苗とも平年よりやや低かった。

以上、移植後の強風、低温により生育が一時的に停滞したため、その遅れを若干取り戻せない状況にある。しかしながら、中苗「きらら397」の茎数が平年に比べ少ないものの、それ以外についてはほぼ平年値の範囲内と判断し、目下の作況は「平年並」である。

表2 6月20日現在の本田生育

品種名	苗	主稈葉数 (枚)			茎 数 (本/㎡)				草 丈 (cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	対比(%)	本年	平年	比較
きらら 397	中苗	7.6	8.0	0.4	400	535	135	75	25.4	29.0	3.6
ほしのゆめ	成苗	7.7	8.0	0.3	548	549	1	100	32.4	34.7	2.3
きらら 397	成苗	8.3	8.5	0.2	609	614	5	99	30.4	31.8	1.4
ななつぼし	成苗	8.2	8.2	0.0	538	506	32	106	34.7	36.9	2.2

注1) 平年値は平成13～19年7カ年のうち平成13年(最豊年)、平成15年(最凶年)を除いた5カ年の平均を用いた。

2) 印は平年に比べて減を示す。

3) 本田耕種概要

施肥量 : N、P₂O₅、K₂O成分をそれぞれ8.0、9.7、6.9(kg/10a)、堆肥を2t/10a

栽植密度 : 25株/㎡(33.3cm×12.0cm)

植え本数 : 中苗 ; 4本/株、成苗 ; 3本/株

移植日 : 中苗、成苗とも5月19日

2) 秋まき小麦 : やや良

事由：5月下旬は低温に経過したが、6月上旬はやや高温に経過した。また、5月下旬から6月中旬まで降水量が平年より多く、やや湿潤に推移した。前節から生育は平年より進んでおり、出穂期は平年より7日早く、草丈と茎数は平年を上回っている。

したがって、目下の作況はやや良である。

表3 6月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名	出 穂 期 (月日)			草 丈 (cm)			茎 数 (本/m ²)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
ホ ク シ ン	6.3	6.10	7	100.6	90.6	10.0	784	695	89

注1) 平年値は、前7か年中、平成13年、14年を除く5か年の平均値。

2) は平年より早を示す。

3) 大豆 : やや不良

事由：播種期は5月21日で、平年より2日遅く、出芽期も平年より1～2日遅かった。出芽揃は良好であった。6月中旬は気温が低く経過したため、生育はやや停滞しており、主茎節数はほぼ平年並みであったが、主茎長は平年を下回った。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表4 6月20日の大豆の生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			主 茎 長 (cm)			主 茎 節 数 (節)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ	6.4	6.2	2	10.1	12.9	2.8	4.2	3.9	0.3
トヨコマチ	6.3	6.2	1	11.6	15.1	3.5	4.8	4.5	0.3
ユキホマレ	6.4	6.2	2	10.7	15.4	4.7	4.6	4.4	0.2

注1) 平年値は前7か年中、平成14年、18年を除く5か年の平均値。

2) は平年より減を示す。

4) 小豆 : やや不良

事由：播種期は5月26日で平年より3日遅かった。播種後、5月6半旬がきわめて低温に経過したため、出芽期は平年より4日遅かった。出芽後、6月中旬は低温寡照に経過したため、主茎長、本葉数は平年を下回っている。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表5 6月20日の小豆の生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			主 茎 長 (cm)			本 葉 数 (枚)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
エリモショウズ	6.10	6.6	4	3.2	4.7	1.5	0.5	1.3	0.8
しゅまり	6.10	6.6	4	3.9	5.9	2.0	0.5	1.4	0.9

注1) 本年から「サホロショウズ」の報告を中止し、新たに「しゅまり」の作況報告を実施する。

2) 平年値は、前7か年中、平成15年(最豊)、平成16年(最凶)を除く5か年の平均値。

3) は平年より減を示す。

5) ばれいしょ : やや良

事由：植付期は5月13日で平年より6日遅かった。その後の気温は平年よりやや高く経過したため、萌芽までの日数は平年より短く、萌芽期は平年より1日遅い5月26日であった。萌芽期直後はきわめて低温に、6月上旬はやや高温に、また6月中旬は低温に経過したが、生育はおおむね順調で茎長は平年をやや上回っている。なお、既に着蕾はみられるが、開花には至っていない。

したがって、目下の作況はやや良である。

表6 6月20日のばれいしょの生育

品種名	萌芽期(月日)			開花始(月日)			茎長(cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
男爵いも	5.26	5.25	1		6.23	-	36.3	32.5	3.8

注1) 平年値は、前7か年中、平成16年、19年を除く5か年の平均値。

5月20日の時点で播種していなかった大豆と小豆の耕種概要は以下の通りです。

表7 大豆と小豆の耕種概要

作物名	前作物	畦巾 cm	株間 cm	1株 本数 (本)	株数 (株/10a)	施肥量(kg/10a)				
						N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥
大豆	秋まき小麦	60	20	2	8,333	1.8	13.2	9.0	4.2	-
小豆	ばれいしょ	60	20	2	8,333	3.0	12.0	7.0	3.0	-